



## 「第17回寺町サミット in 高岡」の開催について

人々の懐かしい心象風景ともいえる「寺のある風景」は、文化的・歴史的な価値だけにとどまらず、まちに個性を与え、人々の心に潤いをもたらし、地域や市民生活と密接な関係を築いてきました。このような寺院を活かしたまちづくりの方策に関し、その課題の提起、研究、意見交換を通して魅力的なまちづくりに資することを目的に、寺院(群)にゆかりのある都市が集まり、毎年持ち回りで「寺町サミット」を開催しております。

本市がいわゆる「歴史都市」として認定を受けた記念すべき本年に、第17回目のサミットが本市で開催されます。サミット当日は、8市の首長とまちづくり団体等が歴史を活かしたまちづくりに対して寺院群が果たす役割等を協議することとしております。

1 日 時 平成23年10月28日(金) 13:00~17:30

2 場 所 海秀山高岡大法寺(高岡市利屋町67)

※サミット当日は、重要文化財に指定されている長谷川等伯の仏画のほか、大法寺所蔵の寺宝数点を特別展示していただくこととしております。

3 内 容

(1) 基調講演「若き日の長谷川等伯～北陸での活躍～」

(講師：高岡市美術館長 遠藤幸一氏)

(2) まちづくり団体による事例発表

(3) 各都市市長によるパネルディスカッション

(コーディネーター：金沢工業大学教授 蜂谷俊雄氏)

4 主 催 寺院群都市会議

(飯山市、金沢市、岐阜市、上越市、米沢市、小松市、七尾市、高岡市)

第17回寺町サミット in 高岡実行委員会

5 参加者数 まちづくり団体、行政関係者及び一般参加者約200名

6 テーマ 統一テーマ 寺院を活かしたまちづくり

サブテーマ 心と心をつなぐ「共創」のまちづくり